

観音山

平尾小学校だより
第3号
令和7年5月23日



【たて割り班で石拾い】

ほんものにふれる会

5月9日（金）に「ほんものにふれる会」を開催しました。本校では、劇、音楽、パフォーマンスなどの分野で「プロの技」から学ぶ機会を年に1回設けています。今年度は、劇団風の子による『ギャングエイジ』を鑑賞しました。ちょっとした偶然が重なって、「乱暴者」というレッテルを貼られてしまったエイジが、仲間と助け合いながら現実に向き合っていくというお話でした。エイジたちの友達を思う気持ちや、前向きな姿に子どもたちは引き込まれていました。また、たった5人でたくさんの登場人物を生き生きと演じる様子や、工夫された舞台装置に驚かされました。

この会の開催にあたっては平尾校区の健全育成協議会から補助をいただいています。ありがとうございました。



子どもたちの感想を紹介します。（一部抜粋）

5人でげきをするなんてすごきたいへんそうです。でもがんばってやっているのがすごいです。またげきが見たいです。（3年）

とてもおもしろくてみんなたくさん笑っていました。今までに見たなかで一番目くらいにおもしろかったです。1年に1回のほんものにふれる会なのでその時間はとてもしあわせな時間です。（4年）

最後、エイジくんやみんなが自分の夢をみつけたような顔でとっても輝いているように見えました。笑わせてくれたり、感動をくれたりと、とてもいい作品だと思いました。最後の「みなさんまでっかく夢を描き続けてください」という言葉もよかったです。（6年）